

日南市における維持向上すべき歴史的風致

日南市は、日南海岸国定公園である日向灘と飢肥杉の山々に囲まれている。天正16年(1588)から明治初期までの280年間もの間、飢肥藩(現在の日南市と宮崎市南部)として伊東家が5万1千石の城下町を治め、武家屋敷を象徴する門構え、風情ある石垣、漆喰塀の町並みが現在も数多く残っている。石垣で規格的に仕切られ連綿と並ぶ棚田や海幸山幸物語の日向神話を伝承する神社など風光明媚な自然と歴史ある建造物を現在も守り伝えている。これらの自然や歴史的建造物と、古くから継承されている伝統芸能や顕彰活動が一体となって日南市の良好な歴史的風致を形成している。

飢肥杉に囲まれた坂元棚田にみる歴史的風致

坂元棚田は、中山間地の不利な条件を克服し、遠距離から水路をひいてくことで水田耕作を継続してきた。そして、住民の手によって守られてきた棚田の周囲には、飢肥杉林が広がり、農業と林業を両立してきた住民の努力が、現在の美しい景観を生み出している。



飢肥杉林と坂元棚田

鶴戸山にみる歴史的風致

日向神話の海幸山幸の舞台として知られる鶴戸神宮は、古来より日向国内外の厚い信仰を受けている。鶴戸神宮の門前や境内内において現在も行われている、お乳飴売りの習俗は、古くから変わらない鶴戸神宮と門前町の深い結びつきを感じることができる。



鶴戸神宮本殿

小村寿太郎侯顕彰にみる歴史的風致

明治を代表する外交官である小村寿太郎の功績を現代に伝えるために小村侯誕生之地碑を建設し、寿太郎まつりには、この碑の前で慰霊祭が行われている。郷土の偉人の思いは、寿太郎まつりや小村侯に続く人材育成として設立された小村育英会など、様々な顕彰活動を通じて、住民に伝えられている。



小村寿太郎

田ノ上八幡神社の弥五郎人形行事にみる歴史的風致

田ノ上八幡神社で行われる弥五郎人形行事は、神社の祭祀として南九州に伝えられてきた。形態を変化させながらも大切に継承されている弥五郎人形や御神幸行列は、住民の世代間の交流や歴史への興味を抱かせる役割を担っている。



御神幸行列(別体弥五郎様)

飢肥城周辺にみられる歴史的風致

飢肥石による石垣や石塀が数多く残されている飢肥地区は、往時の歴史的景観を維持している。また、石垣の所有者や住民が常に石垣を管理し、美しく保つことで、飢肥の町並み景観を向上させている。その美しく保たれた飢肥石で囲われた屋敷敷地と飢肥杉の住宅が城下町の佇まいを今に伝えている。



横馬場の石垣や生垣

泰平踊にみる歴史的風致

泰平踊は、江戸時代前期から飢肥城下町に伝わる盆踊りの伝承である。登録有形文化財である五百禊神社の庭園においても泰平踊が踊られ、現在まで伝えられている。飢肥のイメージを代表する優雅な踊りが由緒ある建造物と一体となって、格調高い雰囲気醸し出している。



泰平踊(五百禊神社)



日南市の重点区域における施策・事業概要

名称：日南市歴史的風致維持向上地区
面積：380ha

日南市における重点区域は、日南市飢肥重要伝統的建造物群保存地区を中心とした飢肥城下町全体を設定し、歴史的建造物の保存修理や周辺環境の整備を行うことにより、歴史的風致の維持向上を図る。

歴史的風致の拠点となる施設の修理や整備に関する事業

守永家(旧飯田医院)保存整備活用事業



守永家
(旧飯田医院)

歴史的な建造物である旧飯田医院と主屋について、公開活用を図るため、屋根、外壁、内装等の全面改修を行い、観光案内や休憩、地場製品の販売、軽食の提供を行います。

五百禊神社環境保存整備事業

五百禊神社内の庭園等の環境について、改修整備を行い、伊東家墓所や西南戦争戦没者墓地等とともに観光資源として活用します。



五百禊神社



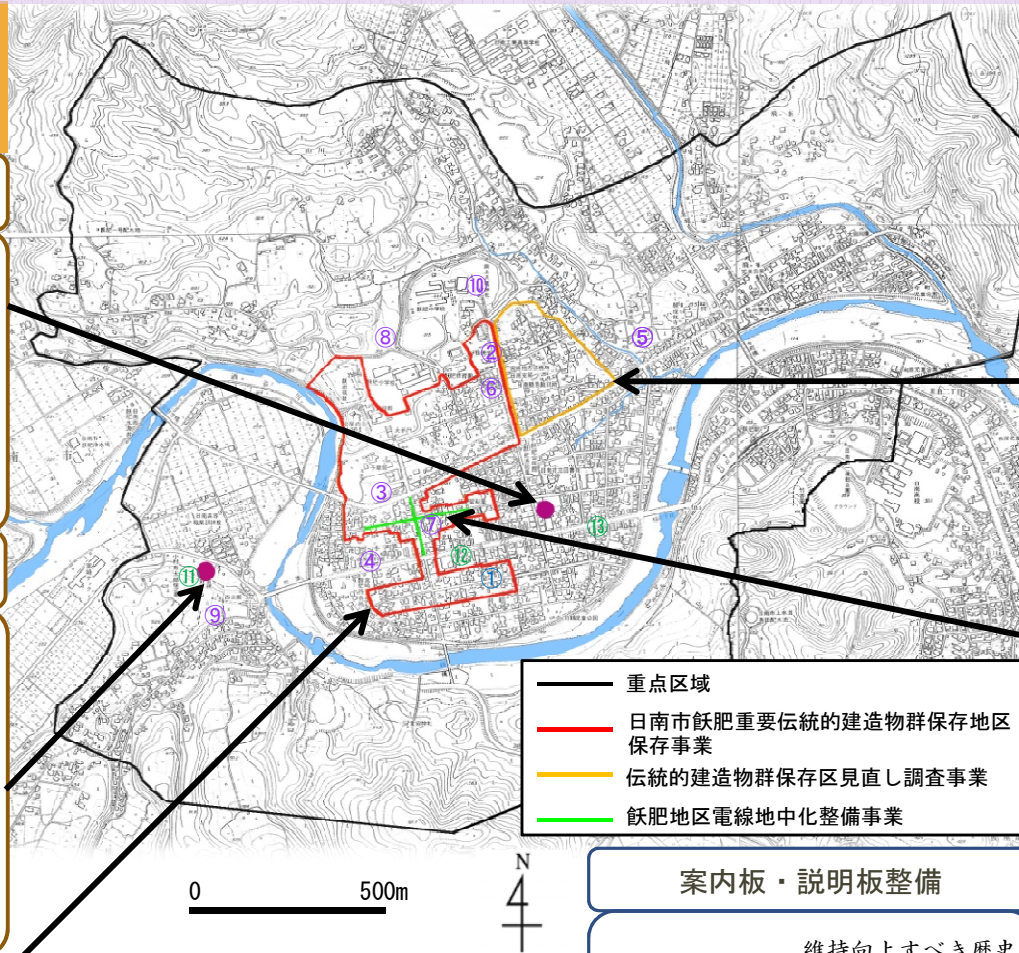
本殿

日南市飢肥重要伝統的建造物群保存地区保存事業



横馬場

日南市飢肥重要伝統的建造物群保存地区内において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施します。



県指定文化財	⑦	旧山本猪平家
① 勝目氏庭園	⑧	飢肥城跡
市指定文化財	⑨	伊東家累代墓地
② 振徳堂	⑩	八幡神社境内のクス
③ 豫章館		登録有形文化財
④ 商家資料館	⑪	五百禊神社本殿
⑤ 願成就寺	⑫	高橋家住宅
⑥ 旧伊東佐左衛門家		

歴史的まちなみや拠点をつなぐ環境の整備に関する事業

伝統的建造物群保存区見直し調査事業



郡司家
(平成23年度
修景事業)

飢肥城下のうち、地区外の地域でも良好な歴史的風致を保つ地区がある。そうした町並み保存に努めていくために、伝統的建造物群保存地区の見直し調査を実施します。

飢肥地区電線地中化整備事業



大手門前通

飢肥重要伝統的建造物群保存地区内の市道後町線及び市道大手横馬場通線の県道元飯倉日南線から国道222号間について、伝統的な町並みにあった道路修景を図るため、無電柱化を実施します。

案内板・説明板整備



案内板

維持向上すべき歴史的風致をより多くの観光客や市民に周知し、飢肥地区への集客、地区内でのより分かりやすい誘導のために、重点区域全域に案内板や説明板を設置します。

飢肥地区景観計画に基づく民家修景事業

平成25年度策定予定の飢肥地区景観計画の区域内において、景観計画の景観修景基準に沿った修景を行う者に対して、修景費用の補助を行います。